

第2章 3

つなみ 津波 ①

副読本 14 - 17 ページ

ねん年 くみ組 ばん番 なまえ名前

1 津波に ついて、知^しりま^{した}し^なょう。下^{なか}の () の 中^{こと}に 言^{こと}ば^ばを 入^いれま^いし^いょう。

津波は 海^{かい}底^{てい}の () に よ^よつ^つて お^{おお}こ^こる 大^{だい}き^きな 波^{なみ} だ^だす。

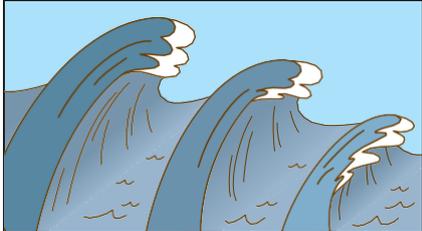
2 下^えの 絵^えを 見^みて、 () の 中^{なか}に 言^{こと}ば^ばを 入^いれま^いし^いょう。



津波は 陸^{りく}上^{じょう}では 自^じ転^{てん}車^{しゃ}より は^はる^るか^かに ()



津波は 家^{いえ}や 船^{ふね}や 車^{くるま}を ()



津波は () や^やつ^つて^てく^くる



津波は 川^{かわ}を ()



津波の 力^{ちから}は と^とて^ても 強^{つよ}い^いよ。ひ^ひざ^ざく^くら^らい^いの 高^{たか}さ^さの 津^{つな}波^みだ^だも ^{なが}さ^され^れて ^{しま}う^うよ。